

第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和6年度実績)

■ 令和4年度 教育・保育の需要量の見込みと確保方策(提供体制)[※事業計画中間見直し書4ページ一部抜粋]

		計画策定時 (A)					
		1号	2号	3号		0歳	1・2歳
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外			
①需要量の見込み 【利用希望児童数】		754	863	1,187			
		497	257	606	581	170	411
②確保方策 【児童定員合計】	特定教育・保育施設	★を除く 1,049	－	802	704	190	514
	上記以外の幼稚園※1	－	－	－	－	－	－
	幼稚園及び預かり保育	★ 257	－	－	－	－	－
	特定地域型保育事業	－	－	－	－	－	－
	認可外保育施設	－	－	0	68	39	29
	合計	1,306		1,574	772	229	543
	過不足 (②－①)	552		196	191	59	132
		幼稚園 ←		→ 保育所			

		実績(R7.3現在) (B)					
		1号	2号	3号		0歳	1・2歳
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外			
		994	1,044	1,411			
		700	294	750	661	167	494
		★を除く 906	－	824	625	160	465
		－	－	－	－	－	－
		★ 294	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	10	42	8	34
		1,200		1,501	667	168	499
		206		84	6	1	5
		幼稚園 ←		→ 保育所			

		実績(B)－計画(A)					
		1号	2号	3号		0歳	1・2歳
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外			
			181				
		203	37	144	80	▲ 3	83
		▲ 143	－	22	▲ 79	▲ 30	▲ 49
		－	－	－	－	－	－
		37	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	▲ 31	5
		▲ 106		32	▲ 105	▲ 61	▲ 44
		▲ 346		0	▲ 185	▲ 58	▲ 127
		幼稚園 ←		→ 保育所			

※1 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度における施設型給付費を受ける保育所・幼稚園・認定こども園は、「特定教育・保育施設」に含み、私学助成を受ける従来型の幼稚園は「上記以外の幼稚園」に含みます。

令和6年度の取組と今後の事業計画、課題等
令和7年3月現在(B)における実績値では、幼稚園部分(1号及び2号中幼児期の学校教育の利用希望が強い)の確保方策合計1,200名に対し994名の実績となり、保育部分(2号中左記以外及び3号)では合計1,501名の確保方策に対し、1,411名の実績となった。保育部分においては、確保方策が需要量の見込みを90名分(1,501-1,411)上回ったが、特定の施設への入所を希望するいわゆる「入所待ち児童」が依然として生じており、施設単位では十分な保育士を確保できていないことが課題となっていることから、市内保育施設等の人材確保を支援するため、令和5年度より「保育士等就労定着支援事業」を実施し、令和6年度においても継続して保育士の確保に努めた。 今後の取り組みとしては、子育て世代の保育ニーズに柔軟に対応できるよう市内施設の認定こども園化を進め、1号及び2・3号定員の需要量に対しての安定した定員確保(確保方策)がとれる様、事業者の意向を確認しながら協議をしていく。